

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-52622

⑬ Int.Cl.⁴

G 06 F 3/02
3/03

識別記号

庁内整理番号

P-7218-5B
J-7165-5B

⑭ 公開 昭和62年(1987)3月7日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 入力装置

⑯ 特 願 昭60-191563

⑰ 出 願 昭60(1985)8月30日

⑱ 発 明 者 永 江 明 人 青森市末広町2丁目9番地 株式会社東芝青森工場内
⑲ 出 願 人 株 式 会 社 東 芝 川崎市幸区堀川町72番地
⑳ 代 理 人 弁 理 士 鈴 江 武 彦 外2名

明 細 書

1 発明の名称

入 力 装 置

2 特許請求の範囲

盤上の指定位置座標によりデータを入力するタブレットと、このタブレットの盤上に載置される仮想キーボードを記したメニューシートと、上記仮想キーボードによるキー入力を指定する指定手段と、この仮想キーボードのキー入力指定状態時に於いて上記タブレットより出力された位置情報をその位置に固有のキーコードに変換する変換手段とを具備してなることを特徴とする入力装置。

3 発明の詳細な説明

〔発明の技術分野〕

本発明は入力機構にタブレットを有してなる情報処理システムシステムに於いて、上記タブレットを有効に活用した入力装置に関する。

〔発明の技術的背景とその問題点〕

パーソナルコンピュータにタブレットを接続

した従来のシステム構成例を第3図に示す。第3図において、01はCPU(中央演算処理装置)、02はデータを蓄えるためのメモリ(MM)、03はフロッピディスク(FD)、04はフロッピディスクコントローラ(FDC)、05はキーボードコントローラ(KBC)、06はキーボード(KB)である。07はRS232Cインターフェース(RS232CIF)、08はタブレット、09はタブレットへの入力用ペンである。

キーボード06からデータをキー入力すると、そのキーコードが図示破線で示すように、キーボード06→キーボードコントローラ05→メモリ02へと送られて、メモリ02内のキーコードバッファ021に蓄えられる。また、入力ペン09により、タブレット08に入力されたデータは、タブレット08→RS232Cインターフェース07→メモリ02へと送られるが、タブレット08が画像入力専用、文章入力専用等と使用法が限定されており、広範囲なアプリ

ケーションに対応するためには、タブレットとキーボードを併用しなければならず、従ってシステム構成が複雑化するという欠点があった。

〔発明の目的〕

本発明は上記実情に鑑みなされたもので、入力機構にタブレットを有してなる情報処理システムに於いて、上記タブレットにキーボード機能をもたせて、キーボードユニットを不要にし、これによってシステム全体の構成を簡素化、低廉化できる入力装置を提供することを目的とする。

〔発明の概要〕

本発明は、入力機構にタブレットを有してなる情報処理システムシステムに於いて、上記タブレットの盤上に設置される仮想キーボードを記したメニューシートと、上記仮想キーボードによるキー入力を指定する手段と、この仮想キーボードのキー入力指定状態時に上記タブレットより出力された位置情報をその位置に固有のキーコードに変換する手段とを有して、上記タブ

ク(FD)、4はフロッピィディスクコントローラ(FDC)、5はRS232Cインターフェース(RS232CIF)、6はタブレット、7はタブレット6の入力用ペンである。

8はキーボードの絵とファンクション部が印刷されているメニューシートであり、上記タブレット6の盤上に任意選択的に設置される。

このメニューシート8の具体的な構成例を第2図に示している。第2図に於いて、81は仮想キーボード部、82は標準メニュー部である。上記標準メニュー部82には、上記仮想キーボード部81のキー入力を指定するための特定のメニュー83が設けられ、このメニュー選択によって上記仮想キーボード部81を使用可とする。この特定のメニュー83をここではシート上に

VKB で表わしている。この **VKB** のメニュー83が選択されることによって、メニューシート8より得られる位置情報(X・Y座標値)がメモリ2内の特定変換テーブル、即ち位置情報—キーコード変換部(CT)22により、位置

レットにキーボード機能をもたせた構成としたもので、これによりキーボードユニットを不要にして、システム全体の構成を簡素化、低廉化できる。

〔発明の実施例〕

以下図面を参照して本発明の一実施例を説明する。

第1図は本発明の一実施例に於けるシステム構成を示すブロック図であり、システム全体の構成としては、上述した第3図の従来構成に於けるキーボードコントローラ及びキーボードユニットを除去した構成要素からなる。

第1図に於いて、1はCPU、2はメモリ(MM)である。このメモリ2内にはキーコードバッファ21等のレジスタ類が設けられるとともに、ここではタブレットからの位置(座標)情報をその位置に固有の予め定められたキーコードに変換する位置情報—キーコード変換部(CT)22が設けられる。

又、第1図に於いて、3はフロッピィディスク

に固有の予め対応付けされたキーコードに変換され、キーコードバッファ21に貯えられるものである。

ここで、第1図、及び第2図を参照して一実施例の動作を説明する。まずタブレット6の盤上位置に第2図に示すキーボード部81をもつメニューシート8を設置し、そのメニューシート8上に印刷されている仮想キーボード部81の任意のキーを入力用ペン7で押すと、タブレット6にて、その位置情報が検出され、この位置情報が第1図に破線で示すように、[タブレット6→RS232Cインターフェース5→メモリ2内の位置情報—キーコード変換部22]へと送られる。この位置情報は、位置情報—キーコード変換部22で指定位置に固有のキーコードに変換され、キーコードバッファ21に送られて、通常のキーボードによる入力と同様の動作をする。この実施例では、第2図に示すメニューシート8上の **VKB** というメニュー(仮想キーボード部を使用可とする機能をもつ)83を

入力用のペン7で押すと仮想キーボード入力、
更にもう一回 **VKB** を押すと仮想キーボード
部で通常のイメージ入力、手書きによる文字入
力等が行なえるように使い分ける。

上述の如くしてタブレット8にキーボードの
機能をもたせてあるので、キーボードレスの簡
素化されたシステムを実現できる。又、タブレ
ット8により、イメージ入力、手書き文字入力、
更にはキーボード入力が行なえるので広範囲な
アプリケーションプログラムに対応できる。

〔発明の効果〕

以上詳記したように本発明によれば、入力機
構にタブレットを有してなる情報処理システム
システムに於いて、上記タブレットの盤上に載
置される仮想キーボードを配したメニューシート
と、上記仮想キーボードによるキー入力を指定
する手段と、この仮想キーボードのキー入力指
定状態時に上記タブレットより出力された位置
情報をその位置に固有のキーコードに変換する
手段とを有して、上記タブレットにキーボード

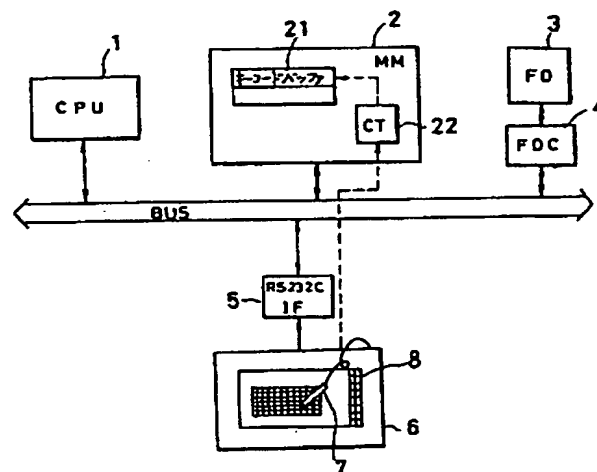
機能をもたせた構成としたもので、これにより
キーボードユニットを不要にして、システム全
体の構成を簡素化、低廉化できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示すブロック図、
第2図は上記実施例における仮想キーボード部
をもつメニューシートの一例を示す図、第3図は
タブレットをゆうしてなる従来のシステム構成
を示すブロック図である。

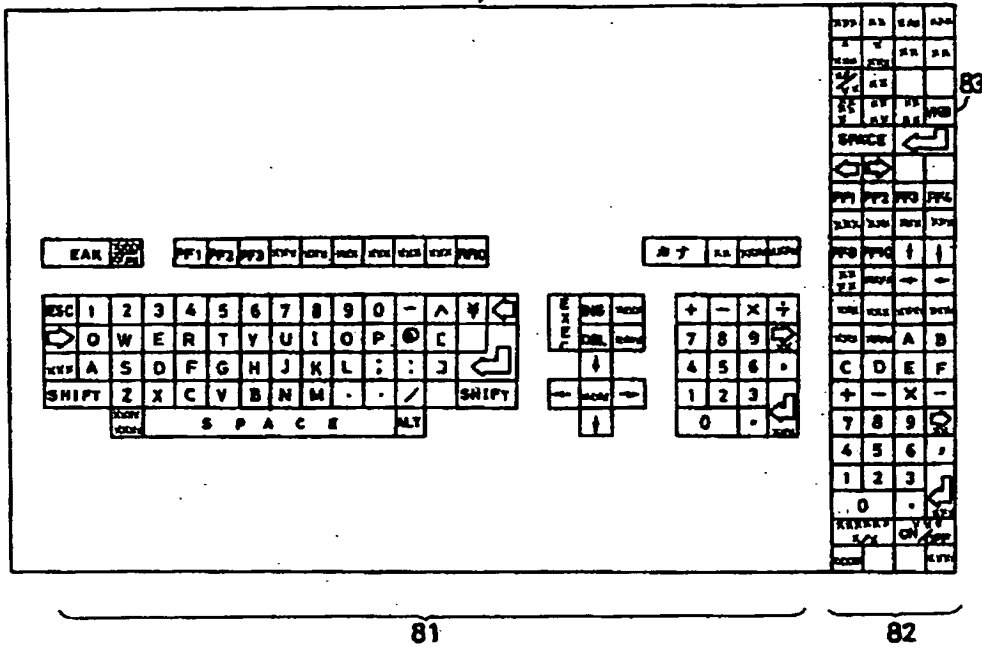
1…CPU、2…メモリ(MM)、3…フロ
ッピディスク(FD)、4…フロッピイア
イスクコントローラ(FDC)、5…RS232C
インターフェイス(RS232CIF)、6…タブ
レット、7…入力用ペン、8…メニューシート、
21…キーコードバッファ、22…位置情報一
キーコード変換部(CT)、81…仮想キーボ
ード、82…標準メニュー。

出願人代理人 弁理士 鈴 江 武 彦

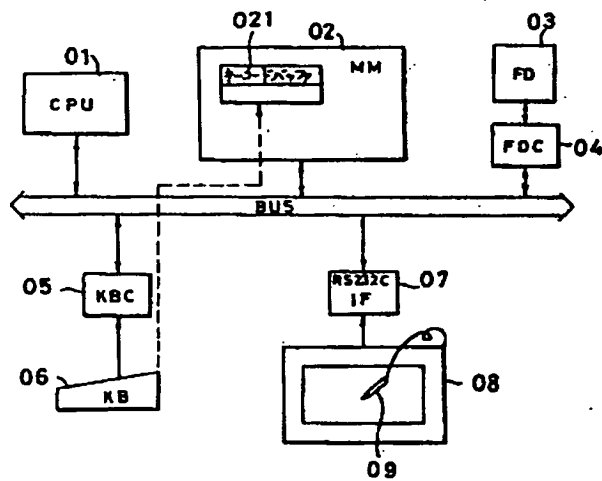


第 1 図

8



第 2 図



第 3 図